

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第2回箕田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年7月31日(木)15:00~16:00

2 場 所 校長室

3 あいさつ(学校長、委員長)

○校長より:地域のあたたかさが児童に受け継がれている。大人の姿を子どもは見ている

○委員長:地域行事の協力への感謝。2 学期に向けて有意義な会にしたい。

4 協議会・委員・教職員による交流会

(1)低学年

○読み聞かせの際の児童の態度がよい。

○ボランティアさんがいてもらえると、児童の安心感につながる。

●畑の草抜きに手が回らない。→地域に発信していこう。

●学習支援ボランティアはぜひ入っていただきたい。丸付け、チェックもありがたい。

●大木中への読み聞かせも行ってみたい。

(2)中学年

○継続的に入ることで、学年が変わっても変わらず接してくれる。

○あいさつやお礼も元気な姿がある。

●児童への説明が、先生と違うといけない。→その都度担任と確認する。

●休み時間の児童間トラブルの見守りもお願いしたい。

●児童の減少し、先生が不足する中での学力保障。学校を応援する人を増やしたい。

(3)高学年

○ここ数年、あたたかい雰囲気でも迎えてくれる。人手が必要な時は、声をかけてほしい。

●ボランティアさんに何をさせていただくのかを明確に伝える必要がある。

●地域コーディネーターが調整係となり、学校と地域をつないでいく。

●児童が減り、ボランティアが必要でなくなってきたさみしさがある。

(3)鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課より。

○地域も学校も、お互いの思いを知ることは必ずプラスになる。

○学校からの積極的な発信をきっかけに、よりよい地域の支援につなげたい。

5 連絡 次回 9月19日(木)17:00